

<資 料>

和牛産肉能力検定（直接法：平成20年度）

片岡博行

Individual Performance Test of Sire in Japanese Black Cattle

Hiroyuki KATAOKA

要 約

候補種雄牛を雄子牛から選抜するため、社団法人全国和牛登録協会の定める産肉能力検定（直接法）を実施した。

- 1 平成20年度には10頭の直接検定を実施し、そのうち5頭の検定が終了した。
- 2 検定終了牛の平均DGは、1.18kg、平均得点は82.9点であった。
- 3 検定成績、血統、体型等を総合的に評価した結果、「美盛光」、「盛利姫」を候補種雄牛として選抜した。

キーワード：牛 和牛 黒毛和種 種畜 産肉能力検定（直接法） 増体量

緒 言

和牛経営においては、繁殖雌牛の産肉性及び種畜性の改良が大きなウエイトを占めており、優良種雄牛の作出が急務である。

そこで、県内優良雌牛から生産された産肉性及び種畜性の優れた雄子牛について、増体性、飼料効率及び種畜性を判定するため、産肉能力検定（直接法）を実施した。

材料及び方法

1 検定牛

肉用牛広域後代検定推進事業により認定され

た基礎雌牛等の産肉能力育種価の高い繁殖雌牛から生産された雄子牛について産子調査を実施し、発育状況等の優れたものについて検定牛として選抜した。

平成20年度検定実施の検定牛は表1に示したとおりで、父牛別にみると「第5北盛」の産子が3頭、「勝福茂」の産子が2頭、「平鶴」の産子が2頭、「利花」の産子が2頭、「藤桜」の産子が1頭の計10頭であった。

また、平成20年度検定終了したものは、平成19年度開始分が3頭、平成20年度開始分が2頭の計5頭であった。なお、表2に検定牛の産肉形質に係る期待育種価を示した。

表1 検定牛の概要

セットNo.	名 号	生年月日	登録番号	血 統			産地	検定期間
				父	母	母の父		
H19-3-1	美盛光	H19.08.18	2007子受卵岡黒1467	第5北盛	みつひかり	美津福	美作市	
H19-3-2	大吉	H19.07.22	2007子岡黒5533	第5北盛	いそえ10の4	利花	新見市	H20.03.06 ~ H20.06.26
H19-3-3	勝花矢	H19.06.29	2007子岡黒1282	勝福茂	いとはなや	糸藤	美咲町	
H20-1-1	45桜藤玉	H19.10.28	2007子岡黒4634	藤桜	第45たま8	北国7の8	津山市	H20.06.25 ~ H20.10.15
H20-1-2	盛利姫	H19.11.01	2008子岡黒195	第5北盛	としひめ	利花	美咲町	
H20-2-1	美咲鶴	H20.05.15	2008子岡黒1318	平鶴	ふくふくみ	福栄	美咲町	H21.01.08 ~ H21.04.30
H20-2-2	勝鶴	H20.05.30	2008子受卵岡黒1319	勝福茂	ふくつる2	谷福土井	美咲町	
H20-3-1	哲多20117	H20.08.07	2008子岡黒5500	利花	しょうえい160	美津福	新見市	
H20-3-2	利盛	H20.08.04	2008子岡黒1678	利花	ひらもり	利花	美咲町	H21.03.12 ~ H21.07.02
H20-3-3	野土路蔓74	H20.07.14	2008子岡黒1125	平鶴	のとりづる48	福栄	新庄村	

(注意) : < >内は、旧名号。

表2 検定牛の産肉能力期待育種価 (kg, cm², cm, 脂肪交雑基準値)

セットNo.	名 号	期 待 育 種 価							
		枝肉重量		コース芯面積		バラの厚さ		脂肪交雑	
H19-3-1	美盛光	52.902	(A1)	7.376	(A1)	1.070	(1%)	1.635	(1%)
H19-3-2	大吉	36.723	(A3)	2.427	(C)	0.897	(3%)	1.193	(A1)
H19-3-3	勝花矢	34.743	(A3)	5.223	(A3)	0.458	(A3)	1.031	(A2)
H20-1-1	45桜藤玉	33.712	(A3)	4.728	(B1)	0.546	(A2)	1.039	(A2)
H20-1-2	盛利姫	37.931	(A3)	4.257	(B1)	1.036	(1%)	1.441	(1%)
H20-2-1	美咲鶴	79.002	(1%)	6.850	(A2)	0.644	(A2)	1.626	(1%)
H20-2-2	勝鶴	60.557	(5%)	4.140	(B2)	1.006	(1%)	1.547	(3%)
H20-3-1	哲多20117	19.198	(B2)	7.045	(A1)	0.278	(B2)	1.229	(5%)
H20-3-2	利盛	-6.771	(C)	3.397	(B2)	0.244	(B2)	1.289	(5%)
H20-3-3	野土路蔓74*	31.448	(B1)	9.227	(1%)	0.457	(A3)	1.392	(1%)

(注意) : * は母牛の期待育種価

()内は、下記のランクを示す。

(1%) ; 上位1%以上、 (3%) ; 3%以上1%未満、 (5%) ; 5%以上3%未満
 (A1) ; 10%以上5%未満、 (A2) ; 15%以上10%未満、 (A3) ; 25%以上15%未満
 (B1) ; 1/3以上25%未満、 (B2) ; 平均以上1/3%未満、 (C) ; 平均未満

なお、育種価は第29育種価 (H21.4.1公表) による。

表3 検定成績結果 (kg, %, cm, 点)

セットNo.	名 号	1日平均 増体量	365日 補正体重	飼料摂取量		粗飼料 摂取率	発 育			審査得点
				CP	TDN		体高	(σ値)	発育判定	
H19-3-1	美盛光	1.30	473.6	99	550	55	127.0	2.2σ	5-(4)	83.5
H19-3-2	大吉	1.39	527.8	101	564	52	129.0	2.1σ	5-(4)	83.2
H19-3-3	勝花矢	0.90	389.8	84	464	50	123.0	-0.2σ	3-(5)	82.5
平 均		1.18	461.76	93.80	521.20	51.80	126.20	1.20		82.98
セットNo.	名 号	1日平均 増体量	365日 補正体重	飼料摂取量		粗飼料 摂取率	発 育			審査得点
				CP	TDN		体高	(σ値)	発育判定	
H20-1-1	45桜藤玉	1.22	409.6	99	550	55	123.2	0.0σ	3-(5)	82.0
H20-1-2	盛利姫	1.10	441.6	101	564	52	126.2	1.0σ	4-(5)	83.4
平 均		1.16	425.60	100.00	557.00	53.50	124.70	0.50		82.70

2 検定方法

検定方法は、社団法人全国和牛登録協会の定める和牛種雄牛産肉能力検定法 (直接検定) に準拠し、次のとおり実施した。

- (1) 検定開始月齢 : 6~7カ月齢
- (2) 検定期間 : 112日間
- (3) 検定飼料及び給与方法
 濃厚飼料 : 直接検定用飼料を体重比 1.0~1.3%制限給与
 (DCP 12.5% TDN 70.5%)
 粗飼料 : チモシー乾草を飽食

3 検定調査項目

1日当たり平均増体量 (DG)、365日齢補正体重、飼料摂取量、体重 (2週間毎)、各部位測尺 (4週間毎)、終了時審査得点

検定成績

平成20年度に検定が終了した5頭について、検定成績を表3に示した。

1 増体量

1日当たりの平均増体量は、最高 1.39kg「大吉」、最低 0.90kg「勝花矢」、平均 1.18kgであった。

また、365日齢補正体重は、最高 527.8kg「大吉」、最低 389.8kg「勝花矢」であり、平均で 446.3kgであった。

2 飼料摂取量及び粗飼料摂取率

飼料摂取量の内、蛋白質関連は CP で表示され、「大吉」と「盛利姫」が最高で 101kg であ

り、最低は「勝花矢」の 84kg で、平均は 96.8kg であった。また、飼料摂取量の内 TDN は、最高が「大吉」と「盛利姫」の 564kg で、最低は「勝花矢」の 464kg であり、平均は 538.4kg であった。

また、粗飼料摂取率は、最高が「美盛光」と「45桜藤玉」で 55 %、最低が「勝花矢」の 50 %であり、平均は 52.8 %であった。

3 終了時の発育及び審査得点

終了時の体高の最高は 129.0cm の「大吉」で、最低は「勝花矢」の 123.0cm であり、平均は 125.7cm であった。社団法人全国和牛登録協会の定める和牛発育標準（雄）に基づく発育判定では「5-(4)」が 2 頭、「4-(5)」が 1 頭「3-(5)」が 2 頭であり、概ね良好な成績であった。

また、審査得点は、最高が「美盛光」の 83.5 点で、最低 82.0 点の「45桜藤玉」とであり、平均は 82.9 点であった。

4 候補種雄牛の選抜

岡山県和牛改良委員会において、直接検定成績、血統及び体型等の結果を総合的に協議した結果、「美盛光」及び「盛利姫」を候補種雄牛として選抜した。

参考文献

- 1) 和牛登録事務必携（平成 17 年度版）.（社）
全国和牛登録協会編. 158-160